

ISSN 1882-9511

愛知学院大学薬学会誌

第15巻 2022年12月

THE AICHI-GAKUIN JOURNAL OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

Volume 15 December 2022

愛知学院大学薬学会
THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF
PHARMACEUTICAL SCIENCES
NAGOYA JAPAN

巻 頭 言

制約の中から見つかるものを見つけるもの

薬学部教務主任 安池 修之

2022年という年は、振り返った時いったいどんな年だったと言えるのだろうか。新型コロナウイルスのオミクロン株の大流行で年が明けた。感染症のパンデミックも丸二年が経ち三年目に突入していく。また、2月24日にはロシアがウクライナに侵攻し、ヨーロッパで紛争という名の戦争が始まった。ウクライナで日常生活は奪われ、地下の防空壕で身を寄せ合う人々の姿を目にすると心が痛む。どちらも世界中を巻き込み大混乱を引き起こしている。

フィル・ハンセン (Phil Hansen) という Multimedia artist をご存知の方も多いと思います。彼は美術学校に通っていたころに手が震えるようになり、一度は美術から離れています。しかし、彼はその制限・制約を受け入れることで、より創造性の高い作品を生み出すようになり、今では自分自身に何らかの制約を設けながら創作活動を行っています。

薬学教育の現場はコロナ禍のために混乱が続いている。感染症の拡大といった制約・制限の中で何かを学び、新しい何かを見つけ出したりできているのだろうか。確かにオンラインでの授業や講義録画のオンデマンド配信など技術的な面では大きな進歩を遂げた。一方、教育における創造性、ここでは学生の実力向上とした場合に果たしてそこまでの進歩を遂げることができたのか、自分自身の担当科目で問うてみると、疑問でもあり、不安でもある。それでなくても薬学部は18歳人口の減少に伴う志願者の減少や領域別第三者評価の存在など厳しい環境に置かれている。いつまでコロナの顔色を見ながら対応をしないといけないのだろうか。「ピンチの後にチャンスあり」と言う。コロナ禍前の良き点と感染症拡大という名の制約・制限の中で見つけたこと、養ったこと、温めていたことを正にハイブリッドしながら薬学部の未来が切り拓かれることを期待したい。

終わりにあたり、本巻が発行される時には感染症や戦争が終息・終結していることを切に願いたい。また、記念すべき愛知学院大学薬学会誌第15巻の発刊、誠におめでとうございます。節目の巻を迎え、今後益々の薬学会誌の充実と発展を祈念いたします。

目次

・ 巻頭言	
制約の中から見つかるものを見つけるもの 薬学部教務主任 安池修之	
・ 総説	
一般総説	
液性パターン認識受容体ペントラキシン3の小児疾患への関与	
-川崎病、若年性特発性関節炎から新型コロナウイルス感染症まで 鬼頭敏幸	1
令和四年度 愛知学院大学薬学会 奨励賞 受賞総説	
カドミウム曝露腎細胞におけるABCトランスポーター応答反応 森稚景（衛生薬学講座）	10
・ 学会報告	
学会開催報告	
第68回日本薬学会 東海支部総会・大会開催報告 佐藤雅彦	15
学会参加報告	
日本薬学会第142年会 川久保暢人、他6名	19
日本薬学会第142年会 富田浩嗣、他5名	20
日本薬剤学会 第37年会 大山晋司、他4名	21
第68回 日本薬学会東海支部大会 大山晋司、他4名	22
第68回 日本薬学会東海支部 松原匡希、他4名	23
・ 医療生命薬学研究所報告	
2022年度医療生命薬学研究所組織および助成	25
第8回サイエンスフォーラム プログラムおよび要旨集	27
カチオン性イミダゾピリジン誘導体を利用した新規蛍光プローブの開発（横断型研究）	
松村実生、伊納義和（医療生命薬学研究ユニット）	28
蓄尿障害に対する牛車腎気丸の治療効果の解明（横断型研究）	
山本清司、波多野紀行、鈴木裕可（地域連携研究ユニット）	29
薄層クロマトグラフィー法と表面増強ラマン散乱の活用による簡便かつ迅速な	
新規血中薬物濃度測定法の開発（横断型研究）	
安藤基純、安永峻也（医療生命薬学研究ユニット）	31
天然物の構造をモチーフに開発したPPAR- δ -RXRアゴニストの機能性に関する研究（個人型研究）	
中島健一（医療生命薬学研究ユニット）	33

黄連解毒湯によるアルツハイマー型認知症のプレクリニカル期における 病態改善作用（個人型研究）	
坪井知恵（医療生命薬学研究ユニット）	35
薬学教育の改善を目的とした大学と卒業生の繋がりを作る（横断型研究）	
波多野紀行、浦野公彦、武田良文（高等教育研究ユニット）	37
・各種委員会報告	
令和三年度 薬学部 FD 活動報告	40
・講座紹介・卒業論文課題一覧	
講座紹介	46
薬学部医療薬学科 13 期生卒業論文課題一覧	86
・令和三年度 大学院薬学研究科 博士論文要旨	
含フッ素 5 価有機アンチモン化合物の合成と Pd 触媒下でのクロスカップリング反応への 応用に関する研究 北村有希（薬化学研究室）	91
・評議委員会便り	
令和四年度 愛知学院大学薬学会総会議事録	100
・薬学会会則および各種規程	105
・名誉会員一覧	122
広告協賛	
編集後記	